

No.	質問	回答
1	地元事業者が公式グッズを開発したり、地元事業者の商品をミュージアムショップで販売する事は可能か？	公式グッズの開発はショップ運営者である丹青社が行いますが、グッズ内容により県内事業者の方と共同で開発することを想定しています。 地元企業様が開発された商品については、説明会でお示しした5つの指針を踏まえ、前向きに取扱いを検討して参ります。
2	ショップでの商品取扱や公式グッズの開発について営業したいが、いつから受け付けているか。	問合せ・営業資料などは随時受け付けています。 具体的な契約等の協議は開館半年前頃となりますが、事業者の皆様とどのような連携が可能かの検討は、それ以前より行いたいと考えております。 まずはお気軽にお問い合わせください。 また、開館後も商品の入れ替えや公式グッズの開発は継続的に実施して参ります。
3	応援製品は、どこで販売してもよいか？ また、開館後にショップで取り扱ってもらえるか？	応援製品は任意の場所で販売いただけます。 ショップでの取扱については、商品の特性なども踏まえて、個別でのご相談とさせていただきます。
4	仕入れや販売条件、契約形態などの詳細を教えてください。	商品の特性(賞味期限・最小ロット・納期など)に応じて、お取引の諸条件は個別でのご相談とさせていただきます。
5	アンディ・ウォーホルの作品は、どれくらいのロイヤリティが発生するか教えてください。	ロイヤリティは著作権者との取り決めによります。 コレクションをモチーフにした商品開発については、まずは所管の鳥取県立博物館美術振興課までお問い合わせください。
6	ショップやカフェ・レストランでアルコールを取り扱う予定はあるか。	ショップでの酒類販売は、前向きに検討しています。 カフェについてもアルコールを提供していきたいと考えていますが、パートナーとなる事業者と相談して決定致します。
7	ミュージアムショップから派生したショップを県立美術館の外に出店するなどの想定はあるか。	現時点では想定していませんが、オンラインでの販売は検討しています。
8	冷蔵商品を取り扱う予定はあるか。	現時点で冷ケース導入の予定はありませんが、需要や商品構成などを踏まえ、導入の可能性は排除せず検討して参ります。
9	ショップの商品構成について詳細を教えてください。	商品構成の詳細については現在検討を進めています。